

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-056063

(43)Date of publication of application : 20.02.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

(21)Application number : 2001-139572

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 10.05.2001

(72)Inventor : FUJIWARA KOUKIYO

(30)Priority

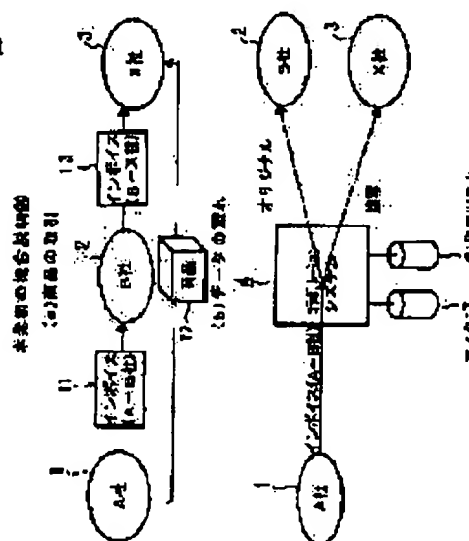
Priority number : 2000163649 Priority date : 31.05.2000 Priority country : JP

(54) RECEPTION/DISTRIBUTION SYSTEM, RECEPTION/DISTRIBUTION PROGRAM AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To receive reference data on electronic trade transaction from a request source, to register it in an instruction master, to receive information and to recognize a content, to multi-address-distribute required information to plural other persons based on the instruction master to reduce reception errors by previous recognition by the request source, and to automatically multi-address-distribute information instructed by the instruction master to the plural other persons to reduce time loss, concerning a reception/distribution system receiving and distributing information, a reception/distribution program and a recording medium.

SOLUTION: The system is provided with the instruction master where information on the transaction of the request source is registered and a means accepting received data and preserving it in the master if data are checked and are right by referring to the instruction master and distributing data to a distribution destination in accordance with link information when link information is registered in information registered in the instruction master.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-56063

(P2002-56063A)

(43) 公開日 平成14年2月20日 (2002.2.20)

| (51) Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | データベース [*] (参考) |
|---------------------------|-------|---------------|--------------------------|
| G 0 6 F 17/60 | 1 1 4 | G 0 6 F 17/60 | 1 1 4 |
| 13/00 | 5 4 0 | 13/00 | 5 4 0 F |

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2001-139572(P2001-139572)
(22) 出願日 平成13年5月10日 (2001.5.10)
(31) 優先権主張番号 特願2000-163649(P2000-163649)
(32) 優先日 平成12年5月31日 (2000.5.31)
(33) 優先権主張国 日本 (J P)

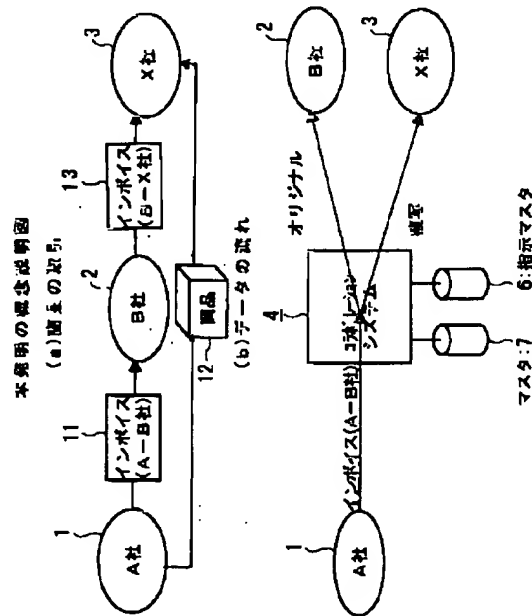
(71) 出願人 000003223
富士通株式会社
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
(72) 発明者 藤原 浩哉
神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内
(74) 代理人 100089141
弁理士 岡田 守弘

(54) 【発明の名称】 受付・配信システム、受付・配信プログラムおよび記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、情報を受け付けて配信する受付・配信システム、受付・配信プログラムおよび記録媒体に関し、依頼元などからの電子商取引に関する基準データを受け取って指示マスタに登録し、指示マスタをもとに情報の受付、内容確認、他の複数者に必要情報を同報配信し、依頼元による事前確認による受付エラーの軽減および指示マスタで指示された情報を他の複数者に自動同報配信してタイムロスを削減することを目的とする。

【解決手段】 依頼元の取引に関する情報を登録する指示マスタと、依頼元からデータを受信したときに、指示マスタを参照してチェックしてOKのときに受信したデータを受け付けてマスタに保存すると共に、指示マスタに登録されている情報中にリンク情報が登録されていたときにリンク情報に従い配信先にデータを配信する手段とを備えるように構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報を受け付けて配信する受付・配信システムにおいて、
依頼元の取引に関する情報を登録する指示マスタと、
上記依頼元からデータを受信したときに、上記指示マスタを参照してチェックしてOKのときに当該受信したデータを受け付けてマスタに保存すると共に、上記指示マスタに登録されている情報中にリンク情報が登録されていたときに当該リンク情報に従い配信先にデータを配信する手段とを備えたことを特徴とする受付・配信システム。

【請求項2】 上記依頼元の取引に関する情報を上記指示マスタに登録する手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の受付・配信システム。

【請求項3】 上記指示マスタに登録されている情報に従い、受け付けたデータを編集して配信先に配信する手段を備えたことを特徴とする請求項1あるいは請求項2記載の受付・配信システム。

【請求項4】 上記指示マスタを、HTML言語などのタグを用いて記述したことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載の受付・配信システム。

【請求項5】 依頼元の取引に関する情報を指示マスタに登録する手段と、

上記依頼元からデータを受信したときに、上記指示マスタを参照してチェックしてOKのときに当該受信したデータを受け付けてマスタに保存すると共に、上記指示マスタに登録されている情報中にリンク情報が登録されていたときに当該リンク情報に従い配信先にデータを配信する手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項6】 依頼元の取引に関する情報を指示マスタに登録する手段と、

上記依頼元からデータを受信したときに、上記指示マスタを参照してチェックしてOKのときに当該受信したデータを受け付けてマスタに保存すると共に、上記指示マスタに登録されている情報中にリンク情報が登録されていたときに当該リンク情報に従い配信先にデータを配信する手段として機能させるための受付・配信プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報を受け付けて配信する受付・配信システム、受付・配信プログラムおよび記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、電子商取引の連携を行う場合には、発信、受信のシステム単位に仕組みを構築していたため、ネットワーク構築に多大な時間が必要であった。

【0003】 また、情報受付システムが停止している場合や、一定サイクルで行われている場合には、情報送信者

に対して受付結果が通知されるまでに一定の時間が必要であった。

【0004】 また、情報発信者に対しては情報受付側の受付基準を公開していないため、情報発信者側での事前内容確認作業が不十分となり、情報受付後に異常が発見される場合が多かった。

【0005】 また、三者間取引の場合には、情報の受信者がいったん情報受信後にデータの編集を行い、別の受信者に対して情報の発信を行っていた。このため一次受信者（システム）が停止している場合や受信処理が一定サイクルで行われている場合には、二次受信者にデータが渡るまでに多くの時間がかかっていた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 従来の電子商取引の連携を行う場合には上述した問題があり、情報受付システムの運用サイクルに関わらず汎用的に24時間体制で情報の受付作業を代行したり、正常に受け付けた情報をビジネスルール上の必要な相手に同時に情報を発信することが望まれている。

【0007】 本発明は、これらの問題を解決するため、依頼元などからの電子商取引に関する基準データを受け取って指示マスタに登録し、指示マスタをもとに情報の受付、内容確認、他の複数者に必要情報を同報配信し、依頼元による事前確認による受付エラーの軽減および指示マスタで指示された情報を他の複数者に自動同報配信してタイムロスを削減することを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】 図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、A社1は、A社の計算機システムであって、ここでは、商品のデータ（商品のインボイス（送り状）などのデータ）をコラボレーションシステム4に送る側である。

【0009】 B社2は、B社の計算機システムであって、ここは、コラボレーションシステム4から、A社1よりのインボイスなどのデータを受け取る側である。X社3は、X社の計算機システムであって、ここでは、コラボレーションシステム4から、B社2よりのインボイスなどのデータを受け取る側である。

【0010】 コラボレーションシステム4は、商品のデータ（インボイスなど）について、指示マスタ6に従いを代行して受信したり、配送したりなどするものである。指示マスタ6は、データを受信したり、受信したデータを編集したり、編集したデータを配送したりなどの指示情報を登録するものである。

【0011】 マスタ7は、商品のデータなどを保存するものである。次に、動作を説明する。コラボレーションシステム4が依頼元からデータ（例えばA社からインボイス）を受信したときに、指示マスタ6を参照してチェックしてOKのときに受信したデータを受け付けてマスタ7に保存すると共に、指示マスタ6に登録されている

情報中にリンク情報が登録されていたときにリンク情報に従い配信先(ここでは、X社3)にデータを配信するようにしている。

【0012】この際、取引に関する情報を指示マスタ6に登録したり、参照したりするようにしている。また、指示マスタ6に登録されている情報に従い、受け付けたデータを編集して配信先に配信するようにしている。

【0013】また、指示マスタ6を、HTML言語などのタグを用いて記述するようにしている。従って、依頼元などからの電子商取引に関する基準データを受け取って指示マスタ6に登録し、指示マスタ6をもとに情報の受付、内容確認、他の複数者に必要情報を同報配信することにより、依頼元による事前確認による受付エラーの軽減および指示マスタ6で指示された情報を他の複数者に自動同報配信してタイムロスを削減したりすることが可能となる。

【0014】

【発明の実施の形態】次に、図1から図8を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。

【0015】図1は、本発明の概念説明図を示す。図1の(a)は、商品の取引の例を示す。ここでは、A社1がB社2の依頼に基づき、商品12をX社3に発送し、A社1がB社2に対して商品12のインボイス(A社-B社)(商品12をA社1からB社2に送付したという送り状)を送付する。B社2は送付されたインボイス(A社-B社)を見て、インボイス(B社-X社)をX社3に送付するという、商取引の概念の例を示す。これを、本発明では、計算機システムを使用して図1の(b)に示すようにシステム構成する。

【0016】図1の(b)は、データの流れ図を示す。ここでは、図1の(a)の商品のインボイス(送り状)の流れを本発明で実現するために図示のように、A社(A社の計算機システム)1がインボイスをコラボレーションシステム4に送る。コラボレーションシステム4は、受信したデータ(インボイス(A社-B社))について指示マスタ6を参照してチェックし、OKのときに受け付けてマスタ7に保存すると共に、オリジナルのデータ(インボイス(A社-B社))をB社(B社の計算機システム)2に送る。そして、指示マスタ6で指示されている、ここでは、X社にデータ(インボイス(B社-X社))3に自動変換して送る。

【0017】以上のように、コラボレーションシステム4を設け、A社1はコラボレーションシステム4にデータ(インボイス(A社-B社))を送るのみで、コラボレーションシステム4が指示マスタ6に従い自動的にB社2に送付すると共に、指示マスタ6に従いデータ(インボイス(B社-X社))に自動変換してX社3に送付するという、一連の代行処理を指示マスタ6に従い自動的に実行することが可能となる。この際、指示マスタ6には、例えばB社2が

・A社1からB社2に送られてきたデータ(A社-B社)(インボイス(送り状、出荷データ)など)は、データ(B社-X社)として複写し、X社3に送付する

・A社1からB社2に送られてきたデータ(A社-B社)(インボイス(送り状、出荷データ)など)は、B社2の受注残、価格マスタ(マスタ7)などとのチェックを行いOKのもののみ受け付ける

と予め登録しておき、当該指示マスタ6に従い自動実行されるものである。以下順次詳細に説明する。

【0018】図2は、本発明の動作説明図を示す。図2の(a)は、データ配信の仕組みの例を示す。ここで、上段から順に図示の下記のデータの配信の仕組みを記載したものである。

【0019】・オリジナルデータ：

・複写データ：

・複写データ保存：

・終了：

図2の(a)において、S0は、オリジナルのインボイスデータ(図1のインボイス(A社-B社))を図1のコラボレーションシステム4が受信する。

【0020】S1は、ユーザ権限の認証を行う。これは、受信したデータの発信元のユーザが指示マスタ6に登録されてユーザ権限があるか認証する(後述する図4の①参照)。OKのときは次のS2に進む。NGのときは終了する。

【0021】S2は、データ格納チェックする。これは、受信したデータ(インボイス(A社-B社))について指示マスタ6に登録されているかチェックする(後述する図4の②参照)。

【0022】S3は、指示マスタを参照する。S4は、指示マスタを取り出す。これらS3、S4は、後述する図4の③、④に示すように、指示マスタ6を参照してチェック部分を取り出す。

【0023】S5は、指示マスタとのチェックを行う。これは、S4で取り出した指示マスタ6のチェック部分との受信したデータのチェックを行う(図5の⑤参照)。

S6は、マスタ更新する。これは、図6のマスタ6を図示のように、受信したデータをもとに更新する。

【0024】S10は、指示マスタを格納する。S11は、オリジナルデータを保存する。これは、例えば図8の⑩11に示すように、受信したオリジナルデータを保存する。

【0025】以上のS0からS10のオリジナルデータの一連の処理手順によって、図1のコラボレーションシステム4がオリジナルのデータの受信、受信したオリジナルのデータについて指示マスタ6をもとに、ユーザ認証、データのチェック、指示マスタ6とのデータ部のチェック、マスタ7への格納、受信したデータの保存などの代行処理を自動的に行うことが可能となる。

【0026】S7は、LINKチェックを行う。これ

は、後述する図7の㉔に示すように、指示マスタ6中にリンク情報（例えばインボイスの転送先の情報、および変換情報など）のチェックを行う。リンク情報があれば、S8に進む。リンク情報がなければ終了する。

【0027】S8は、S7で指示マスタ6にリンク情報があると判明したので、複写データの編集を行う。S9は、複写データを作成する。これらS8、S9は、例えば後述する図7の㉕、㉖に示すように、指示マスタ6のリンク情報に従い、例えば図1のインボイス（A社-B社）からインボイス（B社-X社）というように、複写および一部分を編集（変更）して作成する。

【0028】以上のS7からS9の複写データ作成の一連の処理手順によって、図1のコラボレーションシステム4が受け付けたデータについて指示マスタ6のリンク情報をもとに、リンクがありのときに、受信したデータの複写および編集してリンク先に送付する複写データを作成する代行処理を自動的に行うことが可能となる。

【0029】S12-0は、複写のインボイスデータ（図1のインボイス（B社-X社））を図1のコラボレーションシステム4が受信する。S12は、ユーザ権限の認証を行う。これは、受信したデータの発信元のユーザが指示マスタ6に登録されてユーザ権限があるか認証する（後述する図4の㉔と同様）。OKのときは次のS13に進む。NGのときは終了する。

【0030】S13は、複写データ格納チェックする。これは、受信した複写データ（インボイス（B社-X社））について指示マスタ6に登録されているかチェックする（後述する図4の㉔と同様）。

【0031】S14は、指示マスタを参照する。S15は、指示マスタを取り出す。これらS14、S15は、後述する図4の㉕、㉖と同様に、指示マスタ6を参照してチェック部分を取り出す。

【0032】S16は、指示マスタとのチェックを行う。これは、S15で取り出した指示マスタ6のチェック部分との複写したデータのチェックを行う（図5の㉗と同様）。

【0033】S17は、マスタ更新する。これは、図6のマスタ7と同様に、複写したデータをもとに更新する。S18は、指示マスタを格納する。

【0034】S19は、複写データを保存する。これは、例えば図8の㉙11と同様に、受信した複写データを保存する。以上のS12-0、S12からS19の複写データの一連の処理手順によって、図1のコラボレーションシステム4が複写データの受信、受信したオリジナルのデータについて指示マスタ6をもとに、ユーザ認証、データのチェック、指示マスタ6とのデータ部のチェック、マスタ7への格納、受信した複写データの保存などの代行処理を自動的に行うことが可能となる。

【0035】S20は、LINKチェックを行う。これは、後述する図7の㉔と同様に、指示マスタ6中にリン

ク情報（例えばインボイスの転送先の情報、および変換情報など）のチェックを行う。リンク情報があれば、S8と同様なものに進む。ここでは、リンク情報がないので、S21で終了する。

【0036】以上のS20、S21の複写データのリンク情報を指示マスタ6から探すここではないので、リンク処理を行うことなく終了するという代行処理を自動的に行うことが可能となる。

【0037】図2の（b）は、データ配信させる仕組みの例を示す。ここでは、指示マスタ6（Navigator）作成の仕組みの例を示す。図2の（b）において、S22は、ユーザ権限認証を作成する。これは、後述する図4の指示マスタ6中の、セキュリティチェックを行うための、ユーザ権限を与えるユーザ（例えばMr. F）を図示のように登録する。

【0038】S23は、データ格納作成を行う。これは、後述する図4の指示マスタ6中の、セキュリティチェックを行うための、例えばインボイスのチェックを行うための情報（例えばA社-B社-Shipping）に登録する。

【0039】S24は、データ内容チェックを作成する。これは、後述する図4の指示マスタ6中のデータ内容チェック部を作成する。S25は、リンク情報を作成する。これは、後述する図4の指示マスタ6中のリンク情報を作成する。

【0040】S26は、指示マスタ（Navigator）を保存する。S27は、終了する。以上のS22からS27によって、ユーザが指示マスタ6を作成してコラボレーションシステム4に随時登録し、当該指示マスタ6に従い図2の（a）の一連の代行処理を自動的に行わせることが可能となる。

【0041】図3は、本発明のシステム構成図を示す。ここでは、A社1、B社2、X社3は、図1の同じ番号のものと同一であるので説明を省略する。図3において、コラボレーションシステム4は、指示マスタ6に従い図2の（a）に示すような代行処理を自動的に行うものであって、ここでは、受付手段41、権限チェック手段42、データチェック手段43、マスタ更新手段44、保存手段45、リンク処理手段46、データ編集手段47、およびデータ作成手段48などから構成されるものである。

【0042】受信手段41は、A社1などからネットワーク（例えばインターネットなど）に送信されたデータ（例えば図1のインボイス（A社-B社））を受信するものである。

【0043】権限チェック手段42は、指示マスタ6を参照して、受信したデータのユーザ権限をチェックするものである。データチェック手段43は、指示マスタ6を参照して、受信したデータのチェック（データ、例えばインボイス（A社-B社）について一連の代行処理を

行うように指示マスタ6に登録されているかチェック)を行うものである。

【0044】マスタ更新処理手段44は、マスタ7を更新するものである。保存手段45は、データなどを保存するものである。リンク処理手段46は、受信したデータについて指示マスタ6を参照してリンク情報が登録されていたときに、リンク情報に従いリンク処理を行うものである。

【0045】データ編集手段47は、リンク処理手段46によってリンク処理を指示されたときに、元のデータを複写した後、リンク情報に従いデータを編集(例えば受信したデータがインボイス(A社-B社)をインボイス(B社-X社)に編集(変更))するものである。

【0046】データ作成手段48は、データ編集手段47によって編集された後の情報をもとに、データ(複写データ)を作成するものである。指示マスタ(Navigator)6は、受信したデータについて、ユーザ権限認証、データチェック情報、データ内容チェック情報、リンク情報などを登録したものである(図4の指示マスタ6参照)。

【0047】マスタ(保存データ)7は、データ(オリジナルのデータ、複写したデータなど)を保存するものである。次に、図3の構成の動作を説明する。

【0048】(1) コラボレーションシステム4の受信手段41が、例えばA社1の計算機システムからネットワークを介してデータ(例えば図1のインボイス(A社-B社))を受信する。

【0049】(2) 権限チェック手段42は、指示マスタ6の権限チェック情報を参照して、受信したデータのユーザの権限のチェックを行う。OKのときは、

(3)に進む。NGのときは、終了する。

【0050】(3) データチェック手段43が、指示マスタ6のデータチェック情報を参照して受信したデータについてチェック(例えばインボイス(A社-B社)が登録されているかチェック)する。OKのときは、

(4)に進む。NGのときは、終了する。

【0051】(4) マスタ更新処理手段44が、指示マスタ6のデータ内容チェック部を取り出し、受信したデータの内容のチェックを行い、OKのときにマスタ7の更新を指示する。NGのときは終了する。

【0052】(5) 保存手段45が(4)でマスタ7の更新の指示を受けたときに、マスタ7にデータ(オリジナルのデータ、複写のデータ)を保存する。

(6) リンク処理手段46が、受信したデータに対応する指示マスタ6にリンク情報が登録されていた場合には、リンク処理を開始する。登録されていなかった場合には、リンク処理をしない。

【0053】(7) データ編集手段47が、(6)でリンク処理の開示を指示されたときに、指示マスタ6のリンク情報に従い、オリジナルのデータを複写した後、

編集(変更)などを行う。例えばオリジナルのデータ(インボイス(A社-B社))をデータ(インボイス(B社-X社))に編集(変更)を行う。

【0054】(8) データ作成手段48が、(7)でデータ編集した後のデータをもとに複写データを作成する。次、図4から図8を用いて、A社1が既述した図1のデータ(インボイス(A社-B社))をコラボレーションシステム4に送信し、コラボレーションシステム4が指示マスタ6をもとにB社に配信および複写データをX社に配信するときの手順を詳細に説明する。

【0055】図4から図8は、本発明のシステム流れ図を示す。図4から図8中で上左端のオリジナルデータの処理は既述した図2のオリジナルデータの処理について記述したものであり、上中央のシステム処理イメージは図2の複写データ作成、複写データ保存などの処理を記述したものであり、上右端の指示マスタ(Navigator)定義イメージはHTML言語でタグを用いて指示マスタ6の具体例を模式的に記述した例を示す。

【0056】図4において、○0は、オリジナルデータを受信する。これは、コラボレーションシステム4が、例えばA社1からネットワークを介して図示のデータ(オリジナル)(図1のインボイス(A社-B社))を受信する。

【0057】①は、ユーザ権限の認証を行う。これは、受信したデータ中の①の部分のユーザ(Mr. F)について、該当する図示の指示マスタ6中の矢印で示すユーザ(Mr. F)とチェックを行う。ここでは、一致してOKとなり、②に進む。NGのときは終了する。

【0058】②は、データ格納チェックを行う。これは、データ(オリジナル)中の種別(Shipping(A社-B社))について、指示マスタ6中の矢印で示すデータチェック情報と比較し、ここでは一致してOKとなり、③に進む。NGのときは終了する。

【0059】③は、指示マスタを参照する。④は、指示マスタを取り出す。これら③と④は、①と②で受信したデータのユーザ権限、データ種別がOKとなったので、次に、指示マスタ6のデータ内容チェック情報を参照してマスタ7に図示のようにそのデータの内容を指示マスタ6から、あるいは指示マスタ6からポイントされている図示外のマスタから取り出す。

【0060】図5において、⑤は、マスタとのチェックを行う。これは、④で指示マスタ6から取り出したマスタ7と、受信したデータとのチェックを行う。具体的には、矢印で示す、

・電文(データ)のData部の<Item>、<Qty>というタグ名のデータを、指示マスタ6中の矢印で示す、Price Master中のデータとチェックする。ここでは、一致してOKとなったので、次の⑥に進む。NGの場合には、終了する。この⑥により、マス

タ7中の左側のデータがチェックされたこととなる。

【0061】図6において、⑤は、マスタ更新する。これは、④で指示マスタ6から取り出したマスタ7と受信したデータとのチェックがOKと判明したので、マスタ7を更新する。具体的には、矢印で示す、

・電文(データ)のData部の<Qty>というタグ名のデータを、指示マスタ6中の矢印で示す、PO中のデータにマイナス処理する。ここでは、マスタ7のPO中に示す

<Qty>1500<Qty>

から1000をマイナスして

<Qty>500<Qty>

とする。

【0062】図7において、⑦は、LINKチェックする。これは、右側の矢印の部分に記述した

・LINK情報からA社-B社-Shippingの情報はB社-X社-Shippingのデータを作成と読み取る。

【0063】これは、矢印で示す指示マスタ6中のリンク情報を参照し、受信したA社-B社-Shippingを指示マスタ6のリンク情報を参照して、B社-X社-Shippingとしたデータに編集する。

【0064】⑧は、複写データ編集する。これは、右側の矢印の部分に記述した

・EDIT情報から指示なし状態と読み取る。これは、矢印で示す指示マスタ6中のリンク情報中のEDITを参照し、ここでは、編集なしを読み取る。

【0065】⑨は、複写データを作成する。これは、右側の矢印の部分に記述した

・複写データを作成

する。この複写データは、種別の部分がA社-B社-ShippingからB社-X社-Shippingになり、他は同じ内容であり、指示データ6のリンク情報に従い自動的に作成されたものである。

【0066】図8において、○10は、指示マスタ/マスタを格納する。これは、⑩までで作成した指示マスタ6およびマスタ7を格納する(更新する)。

○11は、オリジナルデータを保存する。これは、受信したオリジナルのデータの右側に示すデータを保存する。

【0067】以上によって、A社、B社、X社の間における商取引について、コラボレーションシステム4がデータを受信し、指示マスタ6をもとに、⑪ユーザ権限認

証、⑫データ格納チェック、データ内容のチェック(⑬から⑮)、マスタ7更新(⑯)、リンク処理(⑰から⑱)、格納・保存(○10,○11)について代行処理を自動実行することが可能となる。

【0068】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、依頼元などからの電子商取引に関する基準データを受け取って指示マスタ6に登録し、指示マスタ6をもとに情報の受信、内容確認、他の複数者に必要情報を同報配信する構成を採用しているため、依頼元による事前確認による受付エラーの軽減および指示マスタ6で指示した情報を他の複数者に自動同報配信してタイムロスを削減したりできる。これにより、依頼元は従来の送信先単位にそれぞれ個別にデータを作成する手間が不要となり、1つのデータをコラボレーションシステム4に送信するのみで作業を完了し、きわめて簡単に商取引を完結することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の概念説明図である。

【図2】本発明の動作説明図である。

【図3】本発明のシステム構成図である。

【図4】本発明のシステム流れ図(その1)である。

【図5】本発明のシステム流れ図(その2)である。

【図6】本発明のシステム流れ図(その3)である。

【図7】本発明のシステム流れ図(その4)である。

【図8】本発明のシステム流れ図(その5)である。

【符号の説明】

1：A社(A社計算機システム)

2：B社(B社計算機システム)

3：X社(X社計算機システム)

4：コラボレーションシステム

41：受信手段

42：権限チェック手段

43：データチェック手段

44：マスタ更新処理手段

45：保存手段

46：リンク処理手段

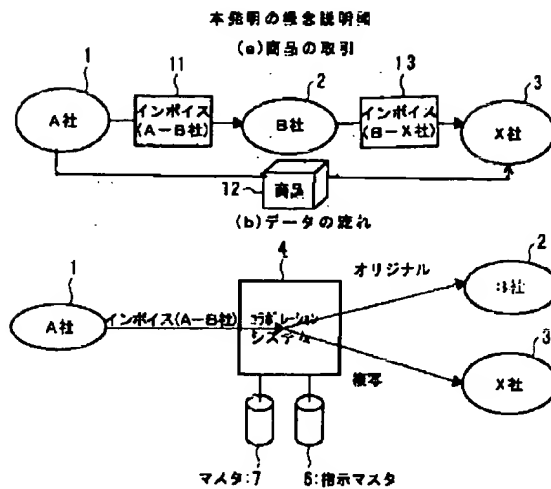
47：データ編集手段

48：データ作成手段

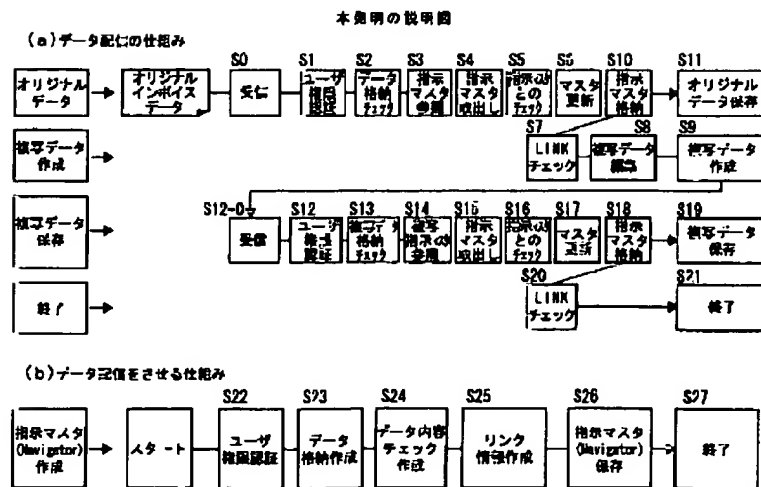
6：指示マスタ(Navigator)

7：マスタ

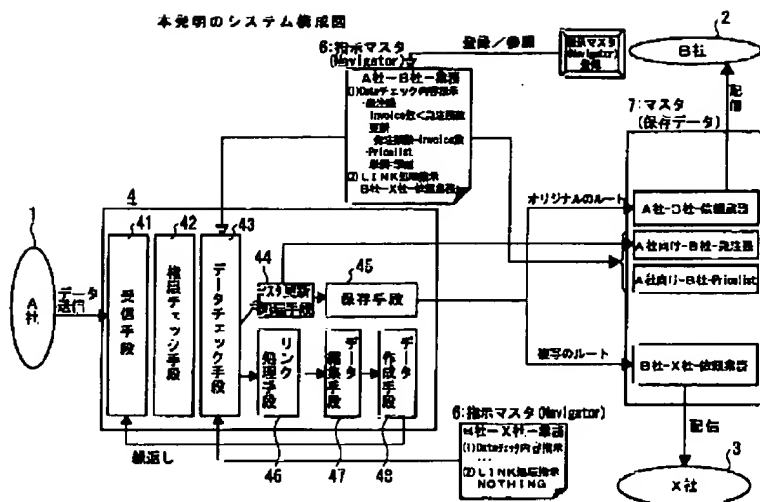
【図1】



【図2】

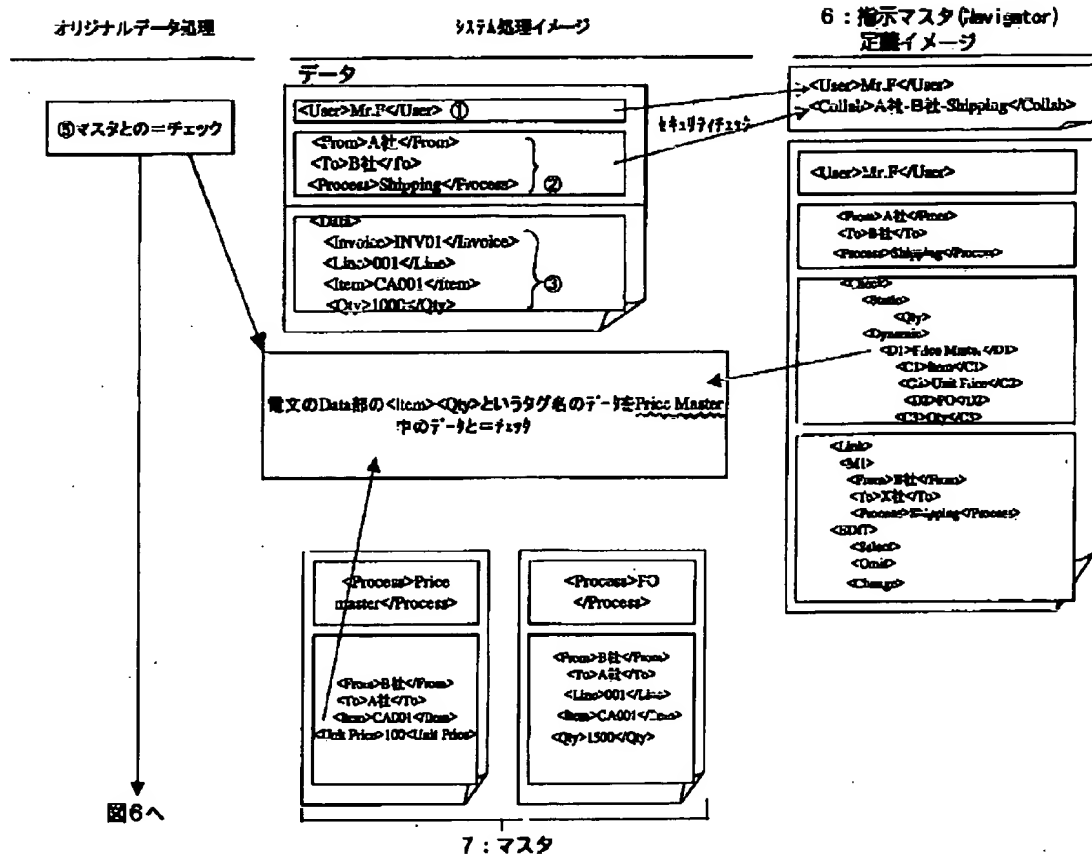


【图3】

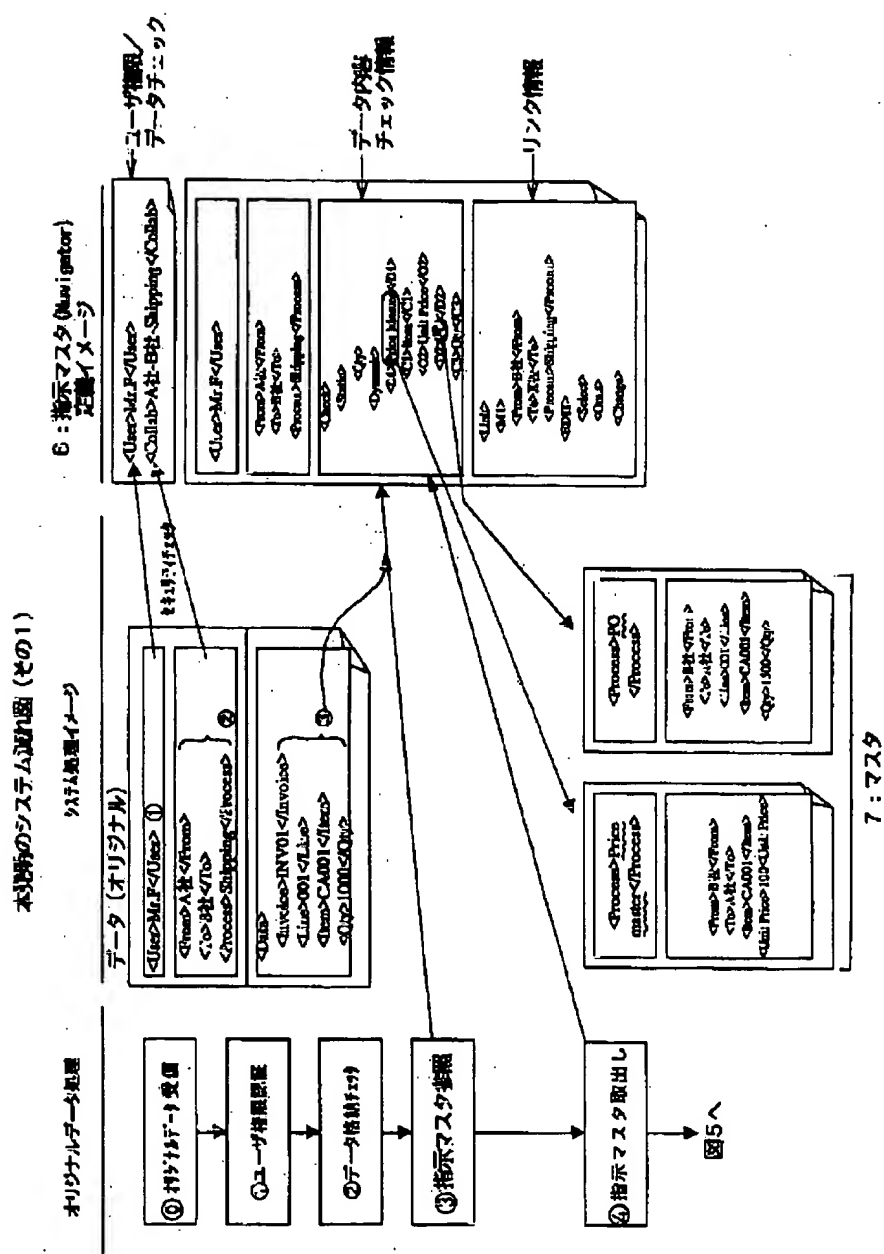


【図5】

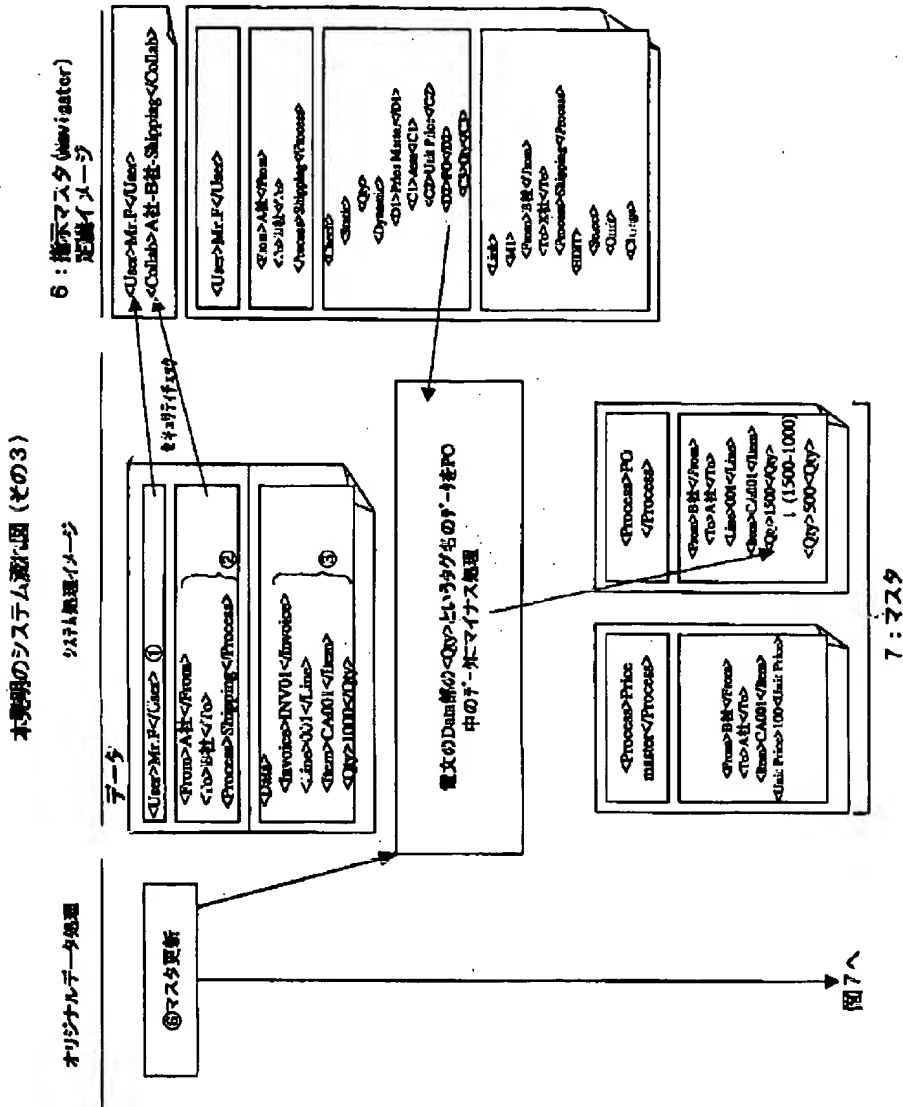
本発明のシステム流れ図（その2）



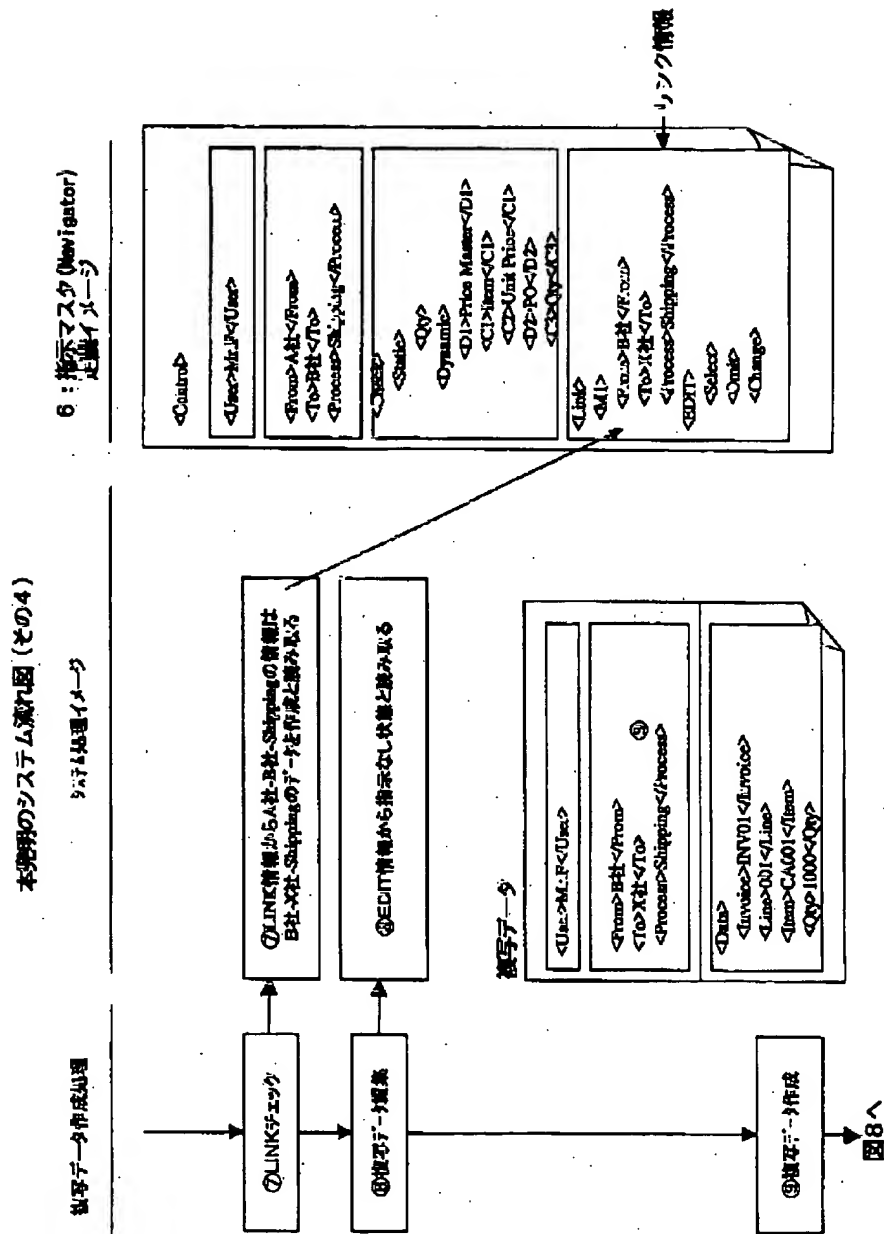
【図4】



【図6】



【図7】



【図8】

